

| | | | | | | | |
|-----|----|---------|-----|--------|--|---------|------|
| 種目名 | 書写 | 選定替えの有無 | 有・無 | 選定発行者名 | | 従来の発行者名 | 教育出版 |
|-----|----|---------|-----|--------|--|---------|------|

| 発行者 観 点 | | 東京書籍 | 学校図書 | 三省堂 |
|---------------------|-----------|--|---|--|
| 1 学習指導要領との関連 | | 相手に読みやすく、正しく整えて文字を書くという書写の基本的な事項が、系統的に指導できるよう編集されている。 | 学習で習得した技能を他教科や実生活の中で生かす場を示すことにより、書写への関心が高まるように工夫されている。 | 基礎的事項から活用まで内容が系統的に配列され、学習したことを日常生活に生かそうとする意欲を高められるように編集されている。 |
| 2 「あいちの教育の基本理念」との関連 | | 実生活で活用できる教材や学校生活をテーマとした教材を取り上げるにより、生活に広がる書写技能が育成できるよう工夫されている。 | 書写を生活に生かすことができる教材を取り上げ、書写を通して日常生活を豊かにしていけるように工夫されている。 | 教材ごとに考えたり話し合ったりする内容を設け、「書く」だけでなく「考える」活動を通して、自らを高められるように工夫されている。 |
| 3 内容等 | (1) 内容の選択 | 学習の案内役として設定されたキャラクターにより、手本の文字についてのポイントや注意事項が示され、「学習のポイント」でも詳しく解説されている。 | 結体、布置を重視し、何度も振り返りができるような構成になっている。また、筆使いが分かりやすくなるように図解された手本文字になっている。 | 「考える書写」を重視し、目標を意識して取り組める内容になっている。行書の筆使いや名前を書いたときの作品の文字の配置が示されている。 |
| | (2) 内容の程度 | 確実にステップアップできるよう系統的に学習内容を配列し、「生活に広げよう」で実生活に生かせるよう工夫されている。 | 姿勢や筆の持ち方などについて簡潔に説明し、毛筆から硬筆へつなげながら技能を習得していくように工夫されている。 | 生活で活用できるように具体的な場面を教材化している。また、日常的な場面での書式の例についても資料編で詳しく解説するなど、実用的な配慮がなされている。 |
| | (3) 内容の構成 | 基礎・基本を定着させる内容から実生活に応用できる発展的内容までが、各単元において順序立てて配列されている。 | 毛筆の学習を生かしながら硬筆の学習に取り組めるように、毛筆のページと硬筆のページを分けて示して、学習の効率化を図っている。 | 基礎・基本を定着させる学習から発展的な学習まで、振り返りながら学習を進めることができるように構成されている。 |
| 4 表記・表現及び使用上の便宜等 | | 学年ごとに中表紙があり、見出しが太字で表記されている。文字を書くときのポイントが示されており、主体的に取り組めるように工夫されている。 | 手書き文字が身の回りで使われている写真を示し、興味を喚起している。「書写の窓」で発展的な内容を扱い、継続的な学びを促している。 | キャラクターにより着眼点を示し、活動内容の焦点化が図られている。作品例が多く掲載されており、実生活に生かすことが実感しやすい。 |
| 5 印刷・造本等 | | 表紙はビニール引きで光沢があり、横幅を広くした紙面で見やすく、ステープラでとめて堅ろうな造本となっている。 | 見やすく分かりやすいユニバーサルデザインの視点を取り入れ、色使いやレイアウトに配慮している。また、堅ろうな造本となっている。 | 色覚の差に配慮したカラーユニバーサルデザインを採用し、用紙やインクは環境を考えたものを使用している。また、三カ所綴りで堅ろうである。 |

| 発行者 | | 教育出版 | 光村図書 |
|---------------------|-----------|---|---|
| 観 点 | | | |
| 1 学習指導要領との関連 | | 基礎的事項から応用へと内容が系統的に配列され、目的や場に応じて、主体的に文字文化に親しむ意欲を高められるように編集されている。 | 学習で培った技能や知識を、目的や必要に応じて他教科や実生活で活用できるように工夫されている。 |
| 2 「あいちの教育の基本理念」との関連 | | 生きてはたらく確かな書写力を育成し、主体的に社会の形成者として寄与する態度を養う配慮がなされている。 | ポスターやレポート作成、行事など、学校生活に関連した教材を設定し、書写の学習が日常生活に生かせるように工夫されている。 |
| 3 内容等 | (1) 内容の選択 | 行書学習特有の穂先の動きや筆の運びがよく分かるように、手本文字を二色の薄墨で示している。また、細かい点画の筆使いなどは拡大して図解されている。 | 筆使いが分かりにくい字形については、色使いで工夫したり、写真や拡大図で説明したりして、視覚的にも理解しやすいように提示されている。 |
| | (2) 内容の程度 | 基礎的な知識、技能が丁寧に学習できるように配慮されている。日常生活に主体的に書写を生かそうという意欲が高まるような課題も盛り込まれている。 | 基礎・基本を無理なく習得することができるように、何を学び、どんな力を身につけるかが焦点化して示されている。 |
| | (3) 内容の構成 | 基礎・基本の定着から応用への系統的な教材配列となっている。基本点画で運筆を明確化し、主体的に学べるよう配慮している。 | 基礎・基本の力を確実に定着させ、実生活に活用できる力に高めることができるように教材の配列が工夫されている。 |
| 4 表記・表現及び使用上の便宜等 | | 履修学年ごとに目次がつけられており、主体的に学習できるよう工夫されている。留意点や指示は吹き出しを使って分かりやすく示されている。 | 学習内容と配当学年を示した見出しを分かりやすく配置している。留意点は生徒に話しかけるような吹き出しを利用して示されている。 |
| 5 印刷・造本等 | | 色覚の差に配慮したカラーユニバーサルデザインを採用し、用紙やインキ、印刷方法は環境を考えたものを使用している。また、三か所綴じで堅ろうである。 | 複数の色を用いる際の配慮などに細心の注意を払い、カラーユニバーサルデザインに配慮した紙面となっている。また、三箇所綴じで堅ろうである。 |